

麻疹(はしか)の感染が今年、拡大している。日本は「排除」状態にあるとされるものの、近年は海外の流行地から原因ウイルスが持ち込まれ、一部で集団感染が起きている。感染力が強くなり、まれに重症化して脳炎を起すが、有効な対策はワクチン接種による予防に限られる。厚生労働省は子どもたちへの接種を呼びかけている。

(医療部 影本菜穂子、秋野誠)



### 集団感染

「集団感染が起きている。今後患者が増えれば、重症者が発生する可能性がある」。22日に開かれた厚労省の専門家部会では、はしかの患者が今後増えることを心配する声が上がった。はしかは、空気中を漂うウイルスを吸い込んで起きる空気感染などで広がる。誰も免疫を持っていない状況で患者1人が平均で12〜

# はしか拡大 昨年超え

299人

## ワクチン接種低下・海外からウイルス

18人に感染させるとされる。インフルエンザの約10倍で感染力は強い。国内の患者数は、2019年に744人を記録したものの、その後は3年連続で10人以下だった。23年から増え、25年の265人を

超え、26年は4月12日時点で299人となった。4月に入り、東京都内の小学校で集団感染も起きた。日本は、地域で持続的に流行しているウイルスがな

アフリカへの渡航前に、はしか予防のためにワクチン接種を受ける男性(22日、東京都千代田区の本スリクニックで)

い「排除」状態にあると15年に世界保健機関(WHO)から認定されている。ただ、ウイルスが1年以上定着すると、排除の認定は取り消しになる。専門家部会では、感染拡大がそのまま続けば取り消しになる、と懸念の声が上がった。

患者は世界で増えている。途上国ではワクチン接種が進んでおらず、インド

ネシアやインドで多数の患者が報告されている。ここ数年、先進国でも患者は増え、英国やカナダで排除の認定が取り消された。

近年、海外との往来は増え、日本に入国した人がウイルスを持ち込んでいる。

91%

度は91%にとどまった。国立健康危機管理研究機構(JIHS)が、接種率

### 社説

## 交渉へ海峡封鎖解除が急務だ

米国のイランが合意した。の隔たりが埋まらなかった。トランプ氏は停戦期間中の再臨

の封鎖である。イランは、海峡は自国の主権が及ぶ領海であり、タンカーなどの航行を制限できると主張している。これに反対して米国は、イランの港に出入りする船舶を対象に事実上の海峡封鎖を始めた。

ホルムズ海峡は、全ての船舶が

たイランの貨物船を拿捕した。国際法上の問題に加え、イランとの偶発的な衝突に発展しかねない、危険な行為である。

海峽封鎖の解除と航行の安全の回復は、世界経済への悪影響に歯止めをかける上でも不可欠だ。

英仏など有志国は、海峡の安全

と聞いている」といった発言が出て、これに異議を唱えた教員はいなかったとされる。

第三者委員は、自浄作用や危機意識が不十分だと批判した。

内輪の論議がまかり通り、常識では理解しがたい発言が黙認され、てしまっていた事実が驚く。

はしかの特徴や対策のポイントについて、厚生労働省感染症対策課や国立健康危機管理研究機構(JIHS)への取材を基にまとめた。

Q はしかの特徴は。

A 麻疹ウイルスは、非常に感染力が強い。せきやくしゃみなどの飛沫からだけでなく、ウイルスが浮遊した空気を吸い込むことでも感染する。通常のマスクでは防げない。

Q 主な症状は。

A 感染から10〜12日間の潜伏期間を経て、高熱や発疹などの症状が出る。特效薬はない。先進国でも1000人に1人の割合で、肺炎や脳炎で亡くなる恐れがある。乳幼児や妊婦、糖尿病など生活習慣病がある人、免疫を抑える薬を使っている人は特に注意が必要だ。

Q 予防法は。

A ワクチン接種が最も有効だ。国の定期接種は1978年に始まり、2006年に2回接種となった。10代〜20代で2回打っていない人は接種してほしい。30代後半から40代は1回接種が多く、追加接種を検討すべきだ。一方、50歳以上は接種を受けていない可能性が高いが、乳幼児期に発症したり、その後ウイルスにさらされたりして若い世代と比べ、免疫は平均的に高いとされる。

Q 大型連休に海外旅行を予定している人も。

A 病院の待合室や電車などで感染したとみられるケースがある。医療機関に事前に電話などで相談し、移動は公共交通機関の利用を避けよう。

(医療部 江村泰山)

## 乳児や妊婦 注意

特徴

感染から10〜12日の潜伏期間を経て発症。発熱、せき、鼻水、全身の発疹などの症状が出る。空気感染し、感染力が非常に強い

対策

2回のワクチン接種が予防に有効

感染が疑われる場合は、医療機関に事前に連絡してから受診。移動は公共交通機関の利用をできるだけ避ける

定期接種の対象外の人は自己負担で接種を受けることが可能だ。ワクチンを独自に調達しているベスリククリニック(東京都)では、流行国への旅行や出張を予定する人らが接種を希望し、来院している。家族ら周囲の人が感染した場合、72時間以内に接種を受ければ予防できるとされ、こうした接種を望む人も増えている。

田中暹院長は「国内外の感染拡大に不安を感じ、来院する人が増えた」と話す。

国際医療福祉大の松本哲哉教授(感染症学)は「都道府県で接種率にばらつきがある。国と自治体が連携し、接種率が低い原因を詳しく分析し、対策を講じることが重要だ。SNSなどの的確な情報を発信することも求められる」と話す。

はしかの特徴と対策

特徴

感染から10〜12日の潜伏期間を経て発症。発熱、せき、鼻水、全身の発疹などの症状が出る。空気感染し、感染力が非常に強い

対策

2回のワクチン接種が予防に有効

感染が疑われる場合は、医療機関に事前に連絡してから受診。移動は公共交通機関の利用をできるだけ避ける

人間関係がうまくいかどうかは

相手を「否定」しているか、  
「否定していないか」で決まる。

シリーズの原点

シリーズ 25万部 ベストセラー

注目の最新刊! 「それ違うよ」

その一言で、相手はもう何も言わなくなる。

いつも「いい人間関係」の人がやっている

否定しない

否定しない 言い換え

絶対に 考えて いけない リスト

世界の科学が証明

スタンフォード、ケンブリッジ、イェー

世界が証明

世界が証明

世界が証明

世界が証明

世界が証明

世界が証明